

**THE
AMBITION!**

SEASON3 関係構築のロジック

恋愛屋ジュン

パートナーシップの究極形態

今回お伝えするのは、パートナーシップの究極形態、とも言える話です。世の中のほとんどのカップルは、とかくレベルが低い。

もうね、低すぎるんですわ。

お互いの人生や成長を、お互いに邪魔しまくってる。

冷静に、客観的に見たら、「お前ら、絶対付き合わなかった方が、人生幸せだったよな」という現象が、起こりまくっています。

こんな事が、あってはならない。

というのが、恋愛屋として使命を感じる部分ではあります。

恋愛や付き合うという行為は、上手くやれば、己を成長させ、魅力的な人になって、関わる人から応援されるような、素晴らしい男になれる、最高の修行です。(もちろん、女の子も魅力的になれます)

ただ、現世にはびこっている、誤った(というかレベルの低い)恋愛の価値観によって、多くの人が不幸の底に貶められているのです。

いやあ、みんな気づいてないだけで、かなりヤバいっすからね。

というわけで、まずはそんな、誤った価値観を認識してもらうところから始めましょう。

恋愛弱者の世界観

世の中の99%の男性が陥っている現象。

それが、性欲と恋愛感情の混同です。

そして、セックスを手に入れるための手段として「付き合う」というカードを切ります。性欲は、子孫繁栄のために組み込まれたプログラムです。なので「一度もセックスしたことがない女性」は、ある程度性的魅力を感じるように出来ています。

初回セックスの直前が、一番可愛く見えるのです。

そして、ひとたびセックスしてしまえば、そこには「妊娠可能性」が生まれます。

既に自分の子供を妊娠している可能性がある相手と、もう一度セックスするより、完全新規の女性とセックスする方が、明らかに効率がいいわけです。

男の性欲のピークは「今にもやらせてくれそうな、そこそこ可愛い女性を目の前にした時」なのです。そして、1回、2回、3回…とセックスを重ねていくうちに、段々と飽き始めます。

それは、妊娠の可能性が高まっていくからなんですね。(本能は、避妊とか理解できません)道徳的にどうか置いといて、人間の本能は、そのように出来ているということは、知っておいて下さい。

だから、長年付き合ったカップルがセックスレスになるのも「自然」なんですよ。何回もセックスしてるんだから、子供は出来ていて当然。そんな相手に欲情していたら、子孫繁栄に繋がりませんからね。

で、セックスしまくってるのに全然子供が出来ないと「あれ、なんかおかしいぞ？」と本能が判断し始めます。そして、次の相手を探すために、恋心は冷めていくのです。

恋愛の賞味期限は「2年」と、よく言われますが、その裏では、こんな事が起こっていたわけです。

で、話を戻すと、

やれそうな女性を目の前にしたときの性欲は異常だと。で、その性欲をなんとかして達成するために、人間のオスは、ありとあらゆる手段を講じます。

その最たるものが「付き合う」ということです。

付き合っているカップルが、セックスするのは当然ですよね。だから、付き合うというカードを切ることで、確実にセックスを手に入れようとするのです。

ただ、性欲が膨れ上がっている男の脳内は、まともな判断ができる状態ではありません。本能領域(大脳辺縁系)が、活性化しまくっているの
で、理性の部分(大脳新皮質)の働きが弱くなるのです。

その結果、へんな女に引っかかったり、スグに終わる恋に手を出したり
するわけですね。

セックスしたいがために、付き合うなんて…

**男としてもダサいし、そんな気持ちで付き合われた女性の身にもなって
みる、というわけです。だから、僕としては「付き合う前に、セックス
の1、2回くらいやっつけよ」と思います。**

ちなみに海外では、どちらかという、付き合う前にお試しデートと、
お試しセックスをしてから、正式に”boyfriend / girlfriend”になるのは
一般的です。(このお試しのことを”dating”と言うそうです)

今の日本の方が特殊。

だって、その方が、お互いにとって、いいじゃないですか。

女性からしても、付き合った男が最低な自分勝手セックスをする男だったら、イヤですよ。大事なことからこそ、付き合うというカードを切らずにやっておくべきなのです。

99%の女性の負けパターン

一応、女子の負けパターンもお伝えしておきますね。

女性というのは、基本的に「自己重要感」が不足しています。自分自身の価値を実感したい、大切な存在だと思いたい、認めてほしい、自分自身を大切に扱ってくれる人の側にいて安心したい…そういう欲望です。

それを満たすために、女性は「恋愛」というものを使います。

いわゆるヤリマンになってしまっている女性は「男性に身体を求められたという事実」によって、自分自身の性的魅力の確認をできてしまっているのです。

セックスしている間は(それが例え、遊びであろうとも)目の前の男が「可愛いね」「素敵だよ」と言ってくれ、熱いキスをしてくれ、抱きしめてくれ、自分のマンコで気持ちよくなってくれているわけです。

そりゃ、強烈に自己重要感は満たされますよね。

ただ、満たされるのはその一瞬だけ。

だから、また次の男を探して、ヤリマンへと堕ちていくのです。

まあこれは極端な例ですが、同じように恋愛の沼にハマっている人は多く見かけます。「彼氏がいる私って素敵！」という状態です。

インスタとか見てたら、そんな女の巣窟ですわ。

私、彼氏とこんなところ行ってきたんだ！みてみて！いいでしょ！私って素敵でしょ！みんないいねして！！！！

という状態。ヤバすぎる。

まあ事実として、そういう男女が、世の中の99%だということです。
せっかくこの講座に参加して頂いたからには、そんな大衆的な暇つぶし
(というかむしろマイナス)の恋愛はサッサと卒業して、次のレベルに
行ってほしいなあと思っているわけです。

というわけで、ここからは、進化したカップルになるために、男が意識、実践していくべきことをお伝えしていきます。

自己重要感を攻略する

基本的な考え方は「自己重要感」が中心になります。

先程も解説しましたが、女性は、恋愛を通して自己重要感を満たしたいと思っています。ただ、その満たし方をミスっているのが、

- ・ 誰にでも股開く女子
- ・ インスタいいね中毒

みたいなものです。

こちら側が、上手く女性を喜ばせ、自己重要感を満たすことが出来れば、逆に彼女は誰もが羨むようないい女になっていきます。

恋愛は「彼女育成ゲーム」だと思ひましょう。

自分と出会った女性、自分と付き合った女性を、とことんいい女にしていく。そして、時が来たら、社会へとリリースする。もしくは、時がきたら、生涯のパートナーになる。

そういう男が増えれば、日本の女性たちはどんどんいい女になっていきますよね？僕は、そういうことがやりたいのです。

というわけで、これからお伝えするのは、出会った女性をいい女にする方法、です。これは彼女だけじゃなくて、セフレでも、一夜限りの相手でも、身体の関係にはならない相手でも使えます。

ぜひ、練習して、無意識に出来るくらいまで、やって頂ければと思います。

Point 1 : 褒める

パートナーシップの超基本は「褒める」です。

女性は、彼氏に褒められるためにがんばります。おしゃれして、髪をセットして、化粧をして、ちょっといい香りをさせて来ます。そして、日頃から体型やスキンケアに気を使い、最新の話題や流行を追いかけているのです。

それを、あなたが褒めた瞬間、女性の脳内で何が起こるのか。

自己重要感が強烈に満たされた上に、

「やって良かった」

「もっとやろう」

というモチベーションが湧いてきます。

そして、もっともっと、いい女になっていくのです。

そういった、女性も目に見えない努力の部分を、会うたびにサラッと褒めてあげてください。

「今日、髪型可愛いね」

「肌綺麗だね、何かやってるの？」

「服、好き？」

こんな感じで、あくまでサラッと。これを、会うたびにやる。すると、女性はあなたと会うのが楽しみで仕方なくなり、そして自分磨きが楽しくて仕方なくなります。

それを、気づかないか、気づいても言わない(褒めない)男が多すぎるから、女性たちは彼氏の愚痴大会で盛り上がるわけですね。

ただ、この褒めるに関して、超大事な注意点があります。

Point 2：要求には応えず、自分勝手に褒める

褒める時のマインドセットは、あくまで「自分勝手に褒める」ということです。

女性の「ほら！見て！ここ頑張ったのよ私！ほめてほめて！」という要求に答えてしまうと、いいように使われてしまいます。要は、彼氏であるあなたが、ただの自己重要感を満たすための道具になるのです。

女性はたびたび、そういった「自己重要感を満たしてくれ！！」という要求を、彼氏に対して突きつけてきます。

その最たるものが

「ねえ、私のこと好き？」

とか

「仕事と私、どっちが大事なの？」

とか。笑

そういった要求に、いちいち応えて、彼女の”言いなり”になってしまっている男の、なんと多いことか。これは非常に嘆かわしいことです。

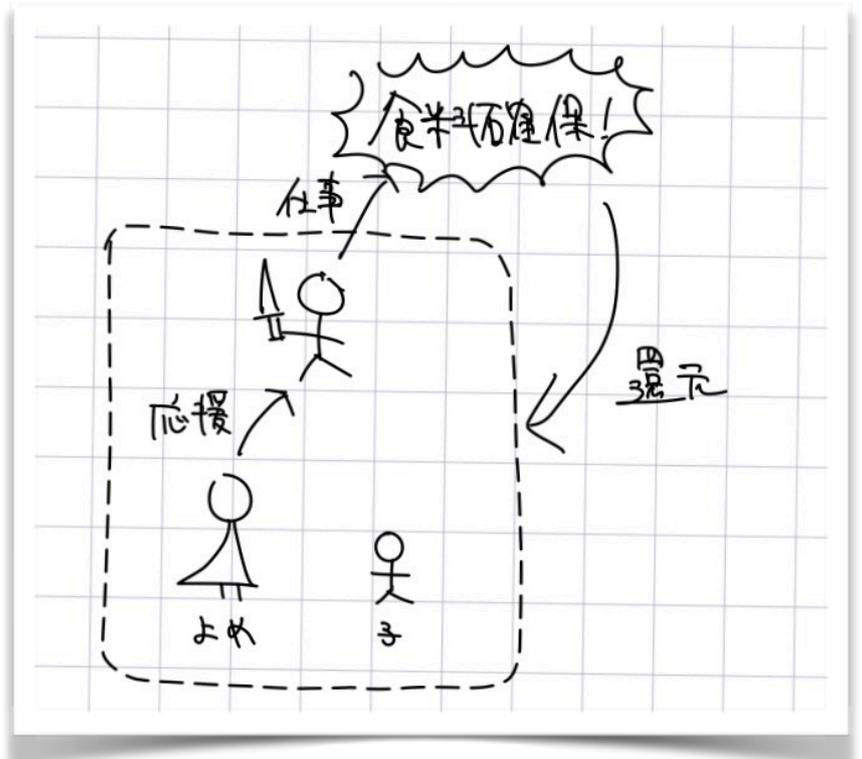
男の時間や労力を(時にはお金も)使わせて、女性が自己重要感を満たし、満足に浸るわけですね。で、男側は、自分のエネルギーを全く生産的な方向につかえていないわけです。

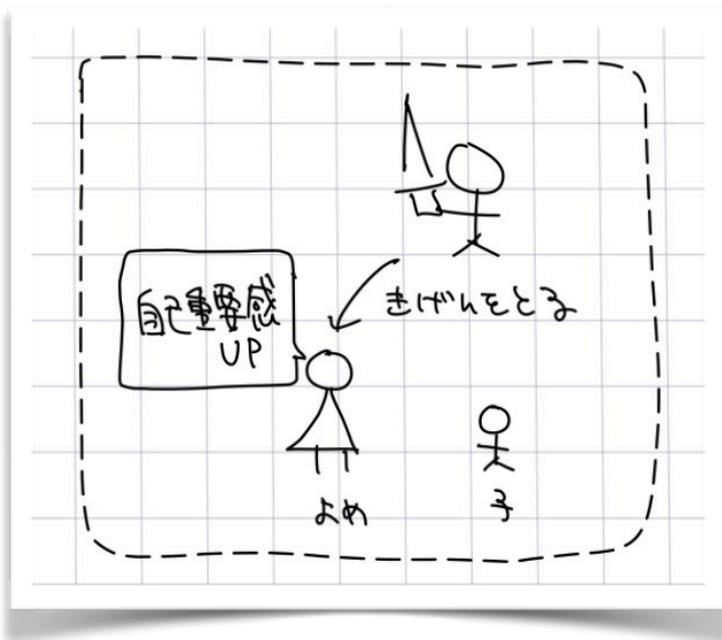
本来のパートナーシップというのは、女性が男性を応援し、男性はそれによって活躍し、食料を確保し、そして家族全員を食わせていく。という形態でした。

そして「旦那が、私の応援によって活躍した」という事実によって、嫁は自己重要感を満たせたのです。

旦那は社会で活躍して出世し、家族は十分すぎるほどの食料を確保できる。これが理想的なカップルや、夫婦の形態です。

食料確保と自己重要感の両立、というわけですね。





しかし、現代のカップルは、男性が食料確保(現代で言うと仕事)に使うべきエネルギーを女性が奪って、自己重要感(というか、その瞬間だけの自己満足)に変えてしまっているわけです。

これ、かなりヤバい。

だって、男が食料確保できないじゃないですか。

すると、嫁も子供も旦那も、まともに飯が食えなくなる。で、一家まるごと崩壊です。だから、彼女の言いなりになって、その場限りの彼女の自己重要感を満たすのは、かなり危険です。

まあ、現代社会は、良くも悪くも人が死なないように整備されているので、実際に死ぬことはありませんが。

それに近いくらいの「一家崩壊」だったり「人生詰み」の状態になることは、多々あるわけです。

よく、スポーツ選手や経営者が、彼女が出来た瞬間に仕事がうまくいかなくなる事がありますが、この現象も同じです。

彼女にエネルギー(時間、労力、お金)を奪われていて、自分が本来やるべき仕事に集中できていない。これは由々しき事態。

そんな短期的に自己重要感を満たさなくても、旦那が出世して活躍すれば「〇〇さんの嫁さん」というだけで、いい思い出来ますからね。

ただ、人間というのは弱いもので、ぼーっとしていると、

目先の、短期的に、今すぐ、確実に、欲望が満たされる

という方向に走ってしまいがちになります。

そうなってしまっっては、せっかく付き合っても、お互いの人生はめちゃくちゃになるわ、関係性も良くならないわで、最悪です。結局「付き合わなければよかったね」というバッドエンドを迎えるわけですね。

そうならないためには、

あくまで、自分が好きなタイミングで、褒める。

というのが重要です。

俺が、褒めたいと思ったから褒めている。キミに合わせるつもりは一切ないし、キミの”満たしてほしいアピール”に応じるほど弱い男じゃないよ…

こういうマインドセットで、常に女性とコミュニケーションを取って頂けたらと思います。

で、もし仮に女性が「満たしてくれアピール」をしてきたら。

例えば…

「私のこと、ほんとに好きなの？」

「いつも仕事ばかりじゃん」

「ねえーかまってよー」

「寂しいんだけど」

「何してるの？」

そういうときは「可愛いなあ、自己重要感満たしたいんだなあ」と思いつつ、愛を持って、

「うるせえ黙れ」

と一蹴してあげましょう。

で、あなたは、自分のやるべき仕事に、熱中していればいいのです。

Point 3 : 女性からも奪うな

逆に、女性からもらったエネルギーを、その瞬間の自己満足に変えたり、自分の不安、不満、コンプレックスの解消に使う男もたくさんいます。

その最たる例が、

彼女の気持ちを確認するような行動

です。

あえて怒鳴り散らしてみたり、
いきなりわけもなく不機嫌になってみたり
暴言や暴力を浴びせたり
突然「別れる」とかいい出してみたり…

そうやって、暴力的に相手を痛めつけたうえで「それでも離れない」という事実確認をしたいわけですね。

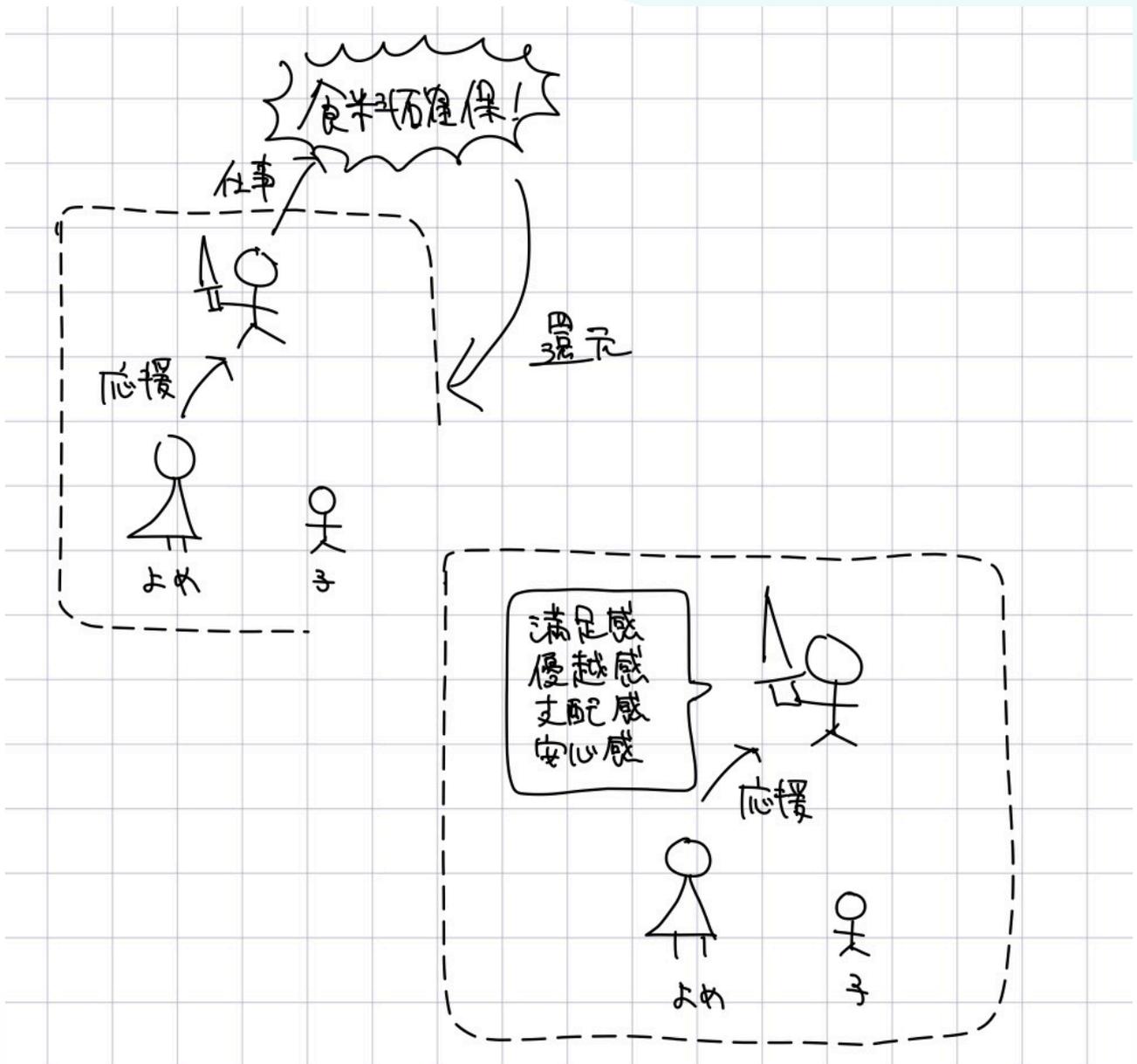
いやあ、ダサすぎる。

だって、それは全て「自分に自信がない」という根源的不安からくる行動ですよ。ヤった女の数を自慢するのも、彼女とラブラブなのをSNSで自慢するのも、全部一緒です。

己の自信のなさやコンプレックスを、女で埋めてるんです。

すると、どうなるでしょう。

せっかく女性が、「旦那に活躍してもらえるように！」と思って与えてくれたエネルギーを”その瞬間の自己満足”に変えてしまいます。



本来あるべき状態が左上。

男が、応援のエネルギーの使いみちを誤っているのが右下。

これだと、男は食料確保(仕事)にエネルギーを使えないので、一家もろとも餓死します。崩壊です。

なので、いつかお伝えしましたが、自分の自己重要感は「自給自足」していきななですよね。女性から貰わなくても、既に自信満々の状態を作っておきましょう。

人間の潜在意識は恐ろしいもので、普段から自信がない状態で生活していると、自分では気づかないうちに女性を踏み台にしてしまうのです。

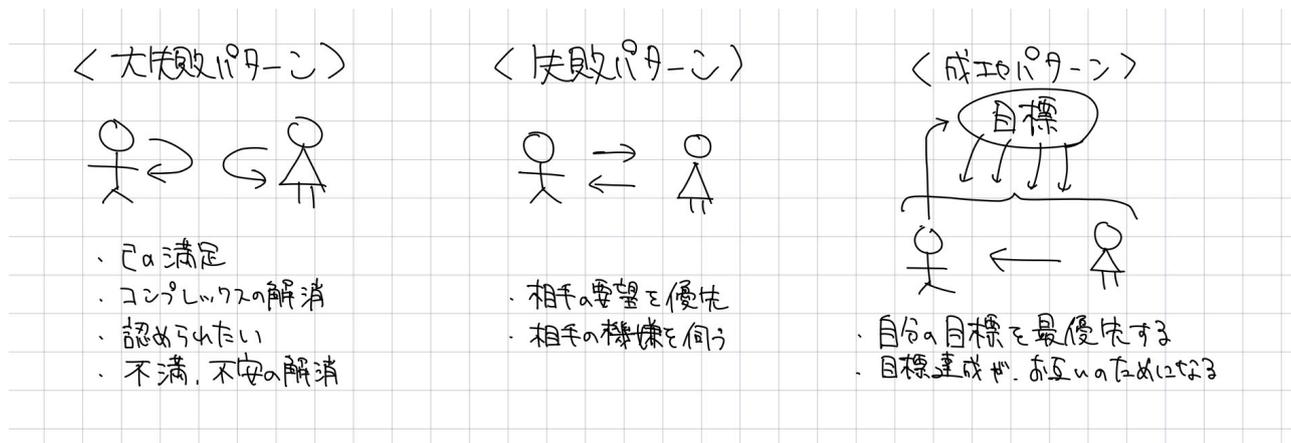
そんなダサい男にはならないように、日々、自己重要感は自分の力でたかめられるようにしておきましょう。

Point4：理想の関係性を作るためには

というわけで、今回の結論です。

- ・性欲の解消のために「付き合う」というカードを使うな
- ・恋愛は「彼女育成ゲーム」だと思え
- ・褒めるをベースに関わる
- ・相手の要求には答えず、自分勝手に褒める
- ・自分の自己重要感は、自給自足しろ

で、コレをまとめると、失敗パターンと成功パターンの共通点が見えてきます。それを、図にまとめました。



大失敗パターンは、自分のことしか考えていない状態。

- ・己の自己満足
- ・コンプレックスの解消
- ・認められたい
- ・不満、不安の解消

こんな感じですね。まあ、さすがにこの講座をここまで見てくれた方は、このレベルではないかなあと。

で、次ですね。

これは要注意。

お互いの機嫌取りに、気を取られているパターン。

- ・相手の要望を優先
- ・相手の機嫌を伺う

という状態です。相手のことを思いやるあまり、長期目線で考えるとマイナスになる行動をしてしまうわけですね。

じゃあ、上手くいくパターンはどういうものかというと、

「男側が、目指すべき理想に向かって、全力で行動している」

という状態です。

女性の顔色なんて一切気にせずに、自分のやりたいことに向けてガンガン行動していく姿を、背中で見せていけばいいのです。

で、たまに「お前のおかげで頑張ってるよ」と、優しく声を掛けてあげましょう。その一言で、女性は人生史上最高の”至福”を感じることが出来るのです。

そういう彼氏の背中を見て、「この男に付いていこう」「この男を全力で応援しよう」と思うわけですね。

.

ぜひ、目の前の女のケツを追いかけるのではなくて、自分の目指すべき場所、夢、目標、理想に向けて、全力で邁進していきましょう！

それでは、今回は以上です。

ありがとうございました！

恋愛屋ジュン